

## ニュース

## 岐阜県養蜂 21 世紀大会

標記の大会が、岐阜県養蜂組合連合会主催で来春（平成 13 年）1 月 19 日（金）に、岐阜市長良の岐阜グランドホテルを会場に開催されることになった。開催概要は下記の通り。

名称：岐阜県養蜂 21 世紀大会

目的：21 世紀の幕開けとして、近代養蜂発祥の地である岐阜県に於いて、全国養蜂関係者と共に 20 世紀の養蜂界を振り返り、21 世紀へ向けた養蜂業界の活性化と団結、並びに消費拡大を図る。

主催：岐阜県養蜂組合連合会（岐阜県養蜂 21 世紀大会実行委員会）

協賛：社）日本養蜂はちみつ協会

後援：岐阜県、岐阜市、中日新聞

日程：平成 13 年 1 月 19 日（金）13:00～

場所：岐阜グランドホテル（〒502-8567 岐阜市長良 648 電話：058-223-1111）

行事：

1) 記念式典：岐阜県養蜂 21 世紀大会（功労者表彰）

2) 記念講演：

14:10-15:10 名和昆虫研究所 名和秀雄所長

15:30-16:30 社）日本養蜂はちみつ協会  
江藤高美会長

3) 記念事業：記念誌発刊「岐阜県養蜂史」

4) 記念祝賀会：17:00-19:00

問い合わせ先：岐阜県養蜂組合連合会事務局

〒500-8384 岐阜市藪田南 1-11-12 岐阜県水産会館 電話 058-275-7351

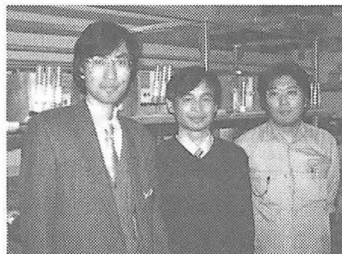
田代一男鹿児島大学名誉教授に  
勲三等旭日中綬章

本年春の叙勲において、鹿児島大学名誉教授の田代一男博士は、永年にわたる学術研究を評価され、5 月 11 日、勲三等旭日中綬章を受賞された。田代名誉教授は、ミツバチヘギイタダニの駆除剤の開発ほか、内外の養蜂普及に貢献してこられた。今回の叙勲は、農学関係の幅広い功績に対するものであるが、その中で養蜂に関する業績も主要な評価対象となっている。

養蜂関係の受勲では、1982 年に故岡田一次教授（当時玉川大学ミツバチ科学研究所主任）が勲三等瑞宝章を受賞して以来の勲等。

中国科学院上海昆虫研究所  
茅洪新教授の来訪

中国科学院上海昆虫研究所の茅洪新教授が玉川大学に 2 か月滞在し、マルハナバチに関する研究を行った。



神奈川県農業総合研究所を訪問（中央）

## 編集後記

残暑厳しい毎日で、例年以上に蜂群の夏の目減りが大きいようだ。さて今号も結局大幅に刊行が遅れ、読者の方々には大変ご迷惑をおかけして申し訳ない。

今号はニホンミツバチに関する記事を 3 編。伝統養蜂について、遠野博物館の宇野氏には、大学生時代の卒論で取り扱った遠野市周辺での事情を、熊本の福田氏には天草に残る竹籠巣箱について報告していただいた。菅原氏には都市部で増えるニホンミツバチについて寄稿していただいたが、インターネットでミツバチ科学施設に寄せられる質問のかなりの数が飛来したニホンミツバチや巣の処理に関する問い合わせ、という現実から納得のいく内容である。田中氏には、花の色香と題して、近著「花の顔」で扱った「形」に「色」と「匂い」を加えて大変わかりやすい解説をいただいた。野に出て花を見るときにはルーペの他に、よくきく鼻が必要そうだ。その他には、少し遅れたが、1 月に来日されたシーラー教授の滞在記、3 月のタイでのアジア養蜂研究協会大会の報告と参加記事といった時事記事を掲載した。いずれも多くの方にお世話になった。あらためて感謝したい。（純）